



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 株式会社 昭和真空

上場取引所 東

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0392

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	5,641	5.6	681	26.0	690	24.8	442	41.6
30年3月期第2四半期	5,975	34.4	921	53.6	917	78.4	756	77.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 384百万円 (51.6%) 30年3月期第2四半期 794百万円 (145.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	71.77	
30年3月期第2四半期	122.84	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	13,636	8,637	63.3	1,402.61
30年3月期	13,622	8,623	63.3	1,400.25

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 8,637百万円 30年3月期 8,623百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		60.00	60.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	5.7	1,494	17.6	1,500	18.1	1,038	32.6	168.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	6,499,000 株	30年3月期	6,499,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	340,500 株	30年3月期	340,327 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	6,158,566 株	30年3月期2Q	6,158,680 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足説明	12
生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)における世界経済は、米国が着実な景気回復を続けていますが、中国向け輸入関税を発動したことで米中貿易摩擦が深刻化しました。欧州ではユーロ圏で景気が緩やかに回復する一方で、南欧の政治リスクが懸念されました。国内経済も緩やかな拡大が続きましたが、相次いだ自然災害や中国経済に対する米中貿易摩擦の影響が不安視される状況となりました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォン関連や電装化が進む車載関連の市場を中心とした電子部品の生産増勢は鈍化しました。そのため増産設備投資の一部にやや慎重な動きが出てきました。一方で、電子デバイスメーカー各社の製品開発への取り組み姿勢は意欲的に推移しており、次世代製品向けの設備投資の引合いは引き続き活発に推移しました。

こうした環境の中、当社グループでは好調な市場を捉え、既存分野への深掘りによる拡販を推進するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に注力しました。また、次世代製品に向けた電子デバイスメーカーからの依頼実験や製品開発にも引き続き意欲的に取り組むことで事業の拡大を図ってまいりました。

生産面では、前期の受注残を背景に上期の生産量は安定し、工場の稼働率は良好に推移しました。また、品質向上に向けてメンテナンス性改善や社内検査の強化などに取り組みました。

損益面では、良好な稼働率をベースに効率的な生産に取り組むと共に、個別原価管理の強化等により利益率の改善に努めました。一方で、光学装置の受注見込案件の確定が一部下期へずれ込み、売上予定案件の一部についても客先からの納期変更により下期計上となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は47億29百万円(前年同四半期比10.7%減)、売上高は56億41百万円(同5.6%減)となりました。

損益につきましては、経常利益6億90百万円(前年同四半期比24.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億42百万円(同41.6%減)となりました。

セグメント別の状況はとおりであります。

## ①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、電子デバイスメーカー各社の次世代製品への取り組み姿勢は引き続き意欲的に推移したものの、増産設備への投資に対してはやや慎重な動きとなりました。光学装置の受注見込案件の確定が一部下期へずれ込み、売上計上案件の一部についても客先から納期変更により下期計上となるなど、全体としては力強さに欠ける展開となりました。

受注高は36億93百万円(前年同四半期比14.6%減)、売上高は46億4百万円(同7.9%減)、セグメント利益は9億62百万円(同19.9%減)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

## (水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、期初に次世代製品向けの装置受注があり、また、中国を中心とした海外水晶デバイスメーカーからの周波数調整工程向けの装置受注を獲得しましたが、期後半には設備投資に対して慎重な動きが見られるようになりました。

水晶デバイス装置の受注高は9億50百万円(前年同四半期比48.4%減)、売上高は13億31百万円(同30.1%減)となりました。

## (光学装置)

光学業界では、反射防止膜成膜用装置を中心に期初受注残を順次納品しましたが、売上予定案件の一部について客先納期変更により下期売上となったものがありました。受注についても見込案件の確定が一部下期へずれ込みました。一方で次世代製品向けの装置受注の獲得もありました。

光学装置の受注高は15億67百万円(前年同四半期比31.1%増)、売上高は23億58百万円(同14.4%増)となりました。

## (電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、自動車のリフレクター向け装置のリピー特受注のほか、顧客との共同開発や実験の依頼などに引き続き積極的に対応し、新規顧客の獲得など既存技術応用分野や新規市場開拓に成果が表れてきております。

電子部品装置・その他装置の受注高は11億75百万円（前年同四半期比8.8%減）、売上高は9億14百万円（同11.6%減）となりました。

## ②サービス事業

サービス事業につきましては、当社ユーザーに対する定期的な稼働状況確認など積極的に働きかけるとともに、水晶モニターや光学装置オプション機構などによる顧客の生産性向上提案を推進し、装置の改造・修理や消耗品の販売に努めました。

サービス事業の売上高は10億36百万円（前年同四半期比6.4%増）、セグメント利益は2億72百万円（同24.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は103億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が14億81百万円減少したものの、現金及び預金が8億72百万円、仕掛品が6億58百万円増加したことによるものです。固定資産は33億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円減少しました。これは主に投資有価証券が41百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は136億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は39億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少しました。これは主に電子記録債務が5億60百万円増加したものの、前受金が1億94百万円、未払法人税等が1億54百万円、役員賞与引当金が86百万円、支払手形及び買掛金が66百万円減少したことによるものです。固定負債は10億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少しました。これは主に退職給付に係る負債が7百万円増加したものの、リース債務が7百万円減少したことによるものです。この結果、負債合計は49億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少しました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は86億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加しました。これは主にその他有価証券差額金が32百万円、為替換算調整勘定が23百万円減少したものの、利益剰余金が72百万円増加したことによるものです。

負債が減少し純資産が増加した結果、自己資本比率は63.3%（前連結会計年度末は63.3%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成30年5月10日付「平成30年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更ありません。

なお、当社グループを取り巻く市場動向を踏まえ、今後の業績推移につきましてはより慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,718,275	3,590,884
受取手形及び売掛金	4,922,764	3,441,068
商品及び製品	3,000	4,040
仕掛品	2,383,672	3,042,248
原材料及び貯蔵品	116,334	175,607
その他	111,195	94,981
貸倒引当金	△18,230	△17,612
流動資産合計	10,237,013	10,331,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	574,412	557,670
機械装置及び運搬具(純額)	103,461	76,500
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	91,370	92,442
その他(純額)	76,488	71,571
有形固定資産合計	2,816,296	2,768,747
無形固定資産		
リース資産	12,436	9,932
その他	106,615	110,011
無形固定資産合計	119,051	119,943
投資その他の資産		
投資有価証券	215,422	173,915
繰延税金資産	225,783	234,774
その他	9,437	8,150
貸倒引当金	△284	△284
投資その他の資産合計	450,359	416,556
固定資産合計	3,385,707	3,305,247
資産合計	13,622,721	13,636,466

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,182,803	1,116,357
電子記録債務	1,276,461	1,837,344
短期借入金	111,972	111,972
リース債務	19,704	16,752
未払費用	235,067	196,762
未払法人税等	390,122	235,783
前受金	201,771	6,777
賞与引当金	282,831	260,518
役員賞与引当金	141,000	55,000
製品保証引当金	51,000	40,000
工事損失引当金	3,840	27,200
その他	37,862	29,951
流動負債合計	3,934,438	3,934,419
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	50,000	50,000
リース債務	30,649	22,943
退職給付に係る負債	458,412	465,699
長期末払金	75,532	75,437
固定負債合計	1,064,593	1,064,080
負債合計	4,999,032	4,998,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	3,756,298	3,828,787
自己株式	△278,181	△278,509
株主資本合計	8,409,197	8,481,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,513	86,747
為替換算調整勘定	93,196	69,584
退職給付に係る調整累計額	1,781	276
その他の包括利益累計額合計	214,491	156,608
純資産合計	8,623,689	8,637,967
負債純資産合計	13,622,721	13,636,466

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	5,975,311	5,641,523
売上原価	4,154,312	4,009,970
売上総利益	1,820,999	1,631,552
販売費及び一般管理費	899,646	949,593
営業利益	921,352	681,958
営業外収益		
受取利息	959	724
受取配当金	1,601	11,691
受取賃貸料	1,055	1,162
その他	2,518	5,660
営業外収益合計	6,135	19,238
営業外費用		
支払利息	1,620	1,775
売上割引	2,332	4,349
為替差損	3,997	3,014
その他	1,719	1,489
営業外費用合計	9,670	10,629
経常利益	917,817	690,567
特別利益		
固定資産売却益	22	—
特別利益合計	22	—
特別損失		
固定資産除却損	378	11
特別損失合計	378	11
税金等調整前四半期純利益	917,460	690,556
法人税、住民税及び事業税	361,076	242,795
法人税等調整額	△200,158	5,751
法人税等合計	160,917	248,546
四半期純利益	756,543	442,009
親会社株主に帰属する四半期純利益	756,543	442,009

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	756,543	442,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,987	△32,766
為替換算調整勘定	△6,583	△23,611
退職給付に係る調整額	3,515	△1,505
その他の包括利益合計	37,919	△57,883
四半期包括利益	794,462	384,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794,462	384,126

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	917,460	690,556
減価償却費	63,378	78,293
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,095	5,119
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,000	△86,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	116,286	△22,313
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△14,000	△11,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△26,240	23,360
受取利息及び受取配当金	△2,561	△12,415
支払利息	1,620	1,775
売上債権の増減額(△は増加)	△2,393,013	1,471,513
たな卸資産の増減額(△は増加)	△960,987	△724,554
未収消費税等の増減額(△は増加)	△95,487	21,542
仕入債務の増減額(△は減少)	679,927	502,250
未払消費税等の増減額(△は減少)	△35,135	934
前受金の増減額(△は減少)	589,452	△194,994
その他	21,399	△50,772
小計	△1,154,802	1,693,296
利息及び配当金の受取額	2,562	3,716
利息の支払額	△1,584	△1,772
法人税等の支払額	△81,435	△390,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,235,260	1,304,813
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,201	△1,201
有形固定資産の取得による支出	△19,654	△35,133
無形固定資産の取得による支出	△2,620	△6,357
その他	-	388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,476	△42,304
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△245,740	△368,726
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10,667	△10,658
自己株式の取得による支出	△43	△328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△256,450	△379,713
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,710	△11,388
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,525,897	871,407
現金及び現金同等物の期首残高	3,645,167	2,681,603
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,119,269	3,553,010

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,001,013	974,298	5,975,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,264	8,665	11,929
計	5,004,277	982,963	5,987,241
セグメント利益	1,201,636	218,394	1,420,031

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,420,031
セグメント間取引消去	3,637
全社費用(注)	△502,317
四半期連結損益計算書の営業利益	921,352

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,604,744	1,036,778	5,641,523
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,306	15,209	16,516
計	4,606,050	1,051,988	5,658,039
セグメント利益	962,332	272,643	1,234,976

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,234,976
セグメント間取引消去	△3,376
全社費用(注)	△549,641
四半期連結損益計算書の営業利益	681,958

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 補足説明

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,331,110	69.9
光学装置	2,358,924	114.4
電子部品装置	914,709	88.4
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	4,604,744	92.1
サービス事業		
部品販売	512,737	101.3
修理・その他	526,559	112.8
サービス事業計	1,039,296	106.9
合計	5,644,041	94.5

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	950,032	51.6	1,046,160	68.2
光学装置	1,567,873	131.1	2,362,893	110.2
電子部品装置	1,175,240	91.2	1,424,000	106.8
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	3,693,146	85.4	4,833,053	96.5
サービス事業				
部品販売	510,219	100.5	—	—
修理・その他	526,559	112.8	—	—
サービス事業計	1,036,778	106.4	—	—
合計	4,729,925	89.3	4,833,053	96.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,331,110	69.9
光学装置	2,358,924	114.4
電子部品装置	914,709	88.4
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	4,604,744	92.1
サービス事業		
部品販売	510,219	100.5
修理・その他	526,559	112.8
サービス事業計	1,036,778	106.4
合計	5,641,523	94.4

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。